

2018年度募集および決定助成団体 と 2019年度助成事業の方向性

重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成

重い病気などによって学びへの意欲向上や学習支援などが必要な子どもたちに対して、学びの機会の提供や学習環境づくりなどの活動に取り組む団体を支援します。

2018年度募集概要

- ・募集期間：2018年7月20日～2018年9月15日
- ・助成対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日
- ・応募数：26件 ・採択事業数：7件 ・金額：計8,402,753円

助成先団体名	申請事業名	都道府県	助成金額
一般社団法人 大阪科学技術センター	院内学級への出前理科実験教室の充実	大阪府	1,007,590
特定非営利活動法人 かごしまコネクションズ	退院後の児童・生徒を対象とした学習支援事業	鹿児島県	543,763
一般社団法人 こどものホスピスプロジェクト	『WOW!働く体験』：病気の子どもの可能性を拓く、 職業体験事業の推進	大阪府	1,150,000
特定非営利活動法人 チャイルド・ケモ・ハウス	小児がんや難病の子どもと社会をつなぐ 『かえっこバザール』の開催	兵庫県	1,725,000
認定特定非営利活動法人 ポケットサポート	病気を抱える子どものICTを活用した 学ぶ意欲支援事業～中間支援～	岡山県	650,000
特定非営利活動法人 み・らいず	ホームページとSNSを活用した 医療的ケア児についての情報発信 保護者向け相談会、医療的ケア児と きょうだい家族対象イベント支援者育成	大阪府	1,668,000
認定特定非営利活動法人 ラ・ファミリエ	入院中の学習支援及び復学支援のための対面 ないし遠隔地に対応可能な支援者育成事業	愛媛県	1,658,400

2019年度は



本領域テーマの社会的認知をより高められるよう、有力な助成団体と連携し社会発信を強化する予定です。

2018年度募集および決定助成団体 と 2019年度助成事業の方向性

経済的困難を抱える子どもの学び支援活動助成

経済的困難を抱える子どもたちへの学びの機会の提供や学習環境づくりなどの活動に取り組む団体を支援します。

子どもたちを取り巻く課題がますます複雑化する中で、支援者もさらに対応力を高めていくことが求められます。地域によって多様な子どもの課題に対し、支援

を持続可能なものにしていくためには、担い手団体の事業基盤の強化や新たな事業へのチャレンジなど、中長期視点での取り組みが必要と考えています。そのため、2017年度までの単年度型助成を変更し、2018年度より、中長期視点で取り組む事業に対し、最大3か年での助成を行うことにしました。

2018年度募集概要

- ・ 募集期間：2018年11月16日～2019年1月7日
- ・ 助成対象期間：2019年4月1日～2022年3月31日（最大3年間）
- ・ 応募数：67件 ・ 採択事業数：7件 ・ 金額：計16,408,000円

助成先団体名	申請事業名	都道府県	助成金額
特定非営利活動法人 アスイク	居場所のない子どもたちのフリースペースの 継続性・支援力を高めるための自治体との協働事業	宮城県	3,000,000
認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・commons	外国籍の子と保護者が相談と学習の機会が得られる地域の支援 システムを学校・行政・企業と連携して構築する	茨城県	2,200,000
特定非営利活動法人 シェイクハンズ	生きる力を育む学びの場と尾張北部地域の 子ども支援ネットワークづくり	愛知県	2,340,000
特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎	どの子どもも社会参画ができる組織基盤整備事業	福島県	1,458,000
一般社団法人 栃木県若年者支援機構	学習支援教室に来ることができない子どもたちへの 訪問型学習支援と学習支援人材育成事業	栃木県	2,840,000
特定非営利活動法人 HUG for ALL	児童養護施設でくらす子どもたちの「生きる力」育成事業	東京都	2,570,000
認定特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター	はままつ子どもの学び支援& セーフティネット強化事業2019	静岡県	2,000,000

2019年度は

新しい枠組み開始から2年目を迎え、複数年助成の成果をより高められる運用を目指します。

被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成

2018年度は7月に発生した西日本豪雨被害に対して緊急助成を実施しました。

◎「平成30年7月豪雨」で被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成

- ・募集期間：2018年7月25日～2018年9月30日 ・助成対象期間：災害発生～2019年3月31日
- ・応募数：61件 ・採択事業数：29件 ・金額：計20,099,725円

※被災地の環境変化の影響を受け、申請事業の未実施・縮小などが生じたことによる助成金の返納もありました。

助成先団体名	所在地	申請事業名	活動地域	助成金額
あそび屋。おせと	岡山県	西日本豪雨災害子育て支援 自由あそびのひろば	岡山県 岡山市	294,012
子どもの心と身体の成長支援ネットワーク	東京都	おやこあそびのひろば	広島県 呉市	380,000
特定非営利活動法人 ぐらしき放課後児童クラブ支援センター	岡山県	倉敷市真備地区における学童保育サポート事業	岡山県 倉敷市	1,000,000
一般社団法人 やかげ小中高こども連合YKG60	岡山県	小田川流域に住む小中高生の学習・生活支援	岡山県 矢掛町 倉敷市	500,000
特定非営利活動法人歩	愛媛県	大洲市の障がいのある子どもの居場所づくり	愛媛県 大洲市	780,000
災害支援ネットワークNPO かけはし	岡山県	避難所および仮設住宅における、子どもや高齢者の心のケア、運動不足の解消	岡山県	653,000
岡山移住交流の会カモミール	岡山県	水害により被害を受けた親子への援助及び地域との連携事業	岡山県 岡山市	703,000
SOSU	岡山県	被災母児に寄り添う居場所をつくろう！ ～音楽と文化体験にあふれるサロンで継続した支援を実施～	岡山県	561,610
特定非営利活動法人 鍼灸地域支援ネット	滋賀県	避難所等にてストレスを抱える児童への小児はりや保護者への鍼灸マッサージ活動	岡山県 倉敷市	500,000
一般社団法人 岡山県助産師会	岡山県	親子・カップル・みんなで学んで体験し命を育む支援事業	岡山県	562,000
一般社団法人 SCGS	岡山県	MABI STUDENT FES	岡山県 倉敷市	1,000,000
Act For Nanyo Kids	愛媛県	西日本豪雨災害にあった子どもたちの心に寄り添う	愛媛県 南予	950,000
一般社団法人 OPEN JAPAN	宮城県	夏休みこども体験プログラム	愛媛県 西予市	630,378
岡大教育学生ボランティア	岡山県	「出張！おかだい（岡大）教室」（被災児童生徒の居場所づくり）	岡山県	440,200
岡山子育て応援団パピママ	岡山県	子どもたちへの心のケア	岡山県 倉敷市	973,900
認定特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン 子どもステーション	広島県	子どもに笑顔と安心を～子どもの気持ちに寄り添う継続体制づくり～	広島県	574,000
公益財団法人 ジョイセフ	東京都	広島県呉市天応区：被災女性・母子の安全で安心できる居場所作りと心のケア	広島県 呉市	790,000
一般社団法人 孫育て検定協会	広島県	内の子も外の子も共に地域の宝～祖父母パワーで被災地子ども遊び寺子屋～	広島県 広島市	650,000
特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYV	広島県	夏休み星空映画会「実写版忍たま乱太郎」	広島県 呉市	986,320
一般社団法人 パパフレンド協会	広島県	「子ども達の笑顔を守る」プロジェクトの延長戦！点から面の支援で地域の元気へ～みんなで遊ぼう！考えて動いてストレス発散&免疫強化&防災・減災学習！～	広島県	979,000
一般社団法人 体力メンテナンス協会	愛媛県	平成30年豪雨災害で被災した大洲市のママへのトータルケアプログラム	愛媛県 大洲市	313,000
認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク	兵庫県	倉敷市岡田小学校の教育活動正常化にかかわる支援活動	岡山県 倉敷市	500,000
特定非営利活動法人 RAY of HOPE	岩手県	災害地での子ども参加型花火大会の実施	広島県 安芸郡	142,307
特定非営利活動法人 だっぴ	岡山県	7月豪雨災害により被災した子どもたちへの支援情報の集約と発信事業	岡山県	1,000,000
災害で生活が変わった子供を支援する会	広島県	小さな勇者を応援しよう！！水害に立ち向かった子どもたちへ	広島県 広島市	325,080
遊び場を考える会	岡山県	プレーパーク活動による子どもの心のケア ～子どもが「遊び育つ力」を育むことを支える遊び場づくり～	岡山県	999,918
遊ぼう会ぶらす	広島県	三原市本郷地区における子どもの居場所づくりと母子サポート事業	広島県 三原市	912,000
社会福祉法人 三原市社会福祉協議会	広島県	遊viva学viva三原	広島県 三原市	1,000,000
認定特定非営利活動法人 アトピッチ地球の子ネットワーク	東京都	平成30年7月豪雨(西日本豪雨)アレルギー患者・災害弱者支援活動	岡山県 倉敷市	1,000,000

2019年度は



2017年度、2018年度の災害緊急助成の経験を踏まえ、災害を起因として困難な課題を抱える子どもの支援を、緊急時によりタイムリーに行えるような枠組みに変更します。災害が起こった際に、すぐに助成の募集が行えるように、年度当初に応募要項を決定・公開しています。